

2025年5月25日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会
第68巻第6号(通算3443号)
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さく^{ひと}されている人を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



〒581-0072 主任担任教師・牛田 匡 牧師
大阪府八尾市久宝寺 6丁目7-10 隠退教師・小林 達夫 牧師
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト) <http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」
kyuho-church@koinonia.or.jp
【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書11:25)

^{ふっかつせつ}復活節 ^{だい}第6主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

^{ぜんそう}前奏 (黙^{もく}禱^{とう}) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの詞 ^{しへん}詩編 ^{へん}95編 ^{せつ}7節

^{さんびか}賛美歌 21-495番「しずけき祈りの」(©著作権消滅)

^{せいしよ}聖書 ^{ふくいんしよ}マタイによる福音書 ^{しょう}6章 1-15節

^{しゅ}主の祈り (1880年^{ねんやく}記)

^{さんびか}賛美歌 1954年版-308番「祈りは口より」(©著作権消滅)

メッセージ「イエス様のお祈り」 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{さんびか}賛美歌 21-444番「気づかせてください」(©日本キリスト教団出版局)

^{しゅ}主の祈り 21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

^{たんじょうしゃしゆくふくしき}誕生者祝福式 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{ささげもの}献げ物 (*)

^は派 ^遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

^{しゆくふく}祝福 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{こうそう}後奏 ^{ばん}アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

^{ほうこく}報告 (4頁^{ページ}をご参照^{さんしょう}ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物 (献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 95 編 7 節（聖書協会共同訳）

まことに、主こそ我らの神。／私たちはその^{まきば}牧場の民、^{みて}御手の羊。

主の祈り①（1880 年訳・1954 年版『讚美歌』564 番）

天にまします我らの父よ、願わくは、み名をあがめさせたまえ。

み国を、きたらせたまえ。

み^{こころ}心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の^{かて}糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかすものを、我らが^{ゆる}赦すごとく、

我らの罪をも^{ゆる}赦したまえ。

我らを、^{こころ}試みに^あ遭わせず、^{いだ}悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、限りなく^{なんじ}汝のものなればなり。 アーメン



聖書 マタイによる福音書 6 章 1-15 節（聖書協会共同訳）

¹「見てもらおうとして、人の前で^a善行をしないように注意しなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から報いが受けられない。²だから、^{ほどこ}施しをするときには、^{ぎぜんしゃ}偽善者たちが人から^ほ褒められようと会堂や通りでするように、自分の前でラッパを吹き鳴らしてはならない。よく言うておく。彼らはその報いをすでに受けている。³施しをするときは、右の手のしていることを左の手に知らせてはならない。⁴あなたの施しを隠すためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」（脚注 a：直訳「自分の義を行わないように」）

⁵「また、祈るときは、偽善者のようであってはならない。彼らは、人に見てもらおうと、会堂や大通りの角に立って祈ることを好む。よく言うておく。彼らはその報いをすでに受けている。⁶あなたが祈るときは、^b奥の部屋に入って戸を閉め、隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」（脚注 b：別訳「倉庫」）

⁷祈るときは、異邦人のようにくどくどと述べてはならない。彼らは言葉数が多ければ、聞き入れられると思っている。⁸彼らのまねをしてはならない。あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ。⁹だから、こう祈りなさい。

『天におられる私たちの父よ
御名が聖とされますように。

^{みくに}御国が来ますように。

^{みこころ}御心が行われますように

天におけるように地の上にも。

^{かて}11 私たちに「日ごとの糧」を今日お与えください。 (脚注 c: 別訳「必要な糧」)

12 私たちの負い目をお赦してください

私たちも自分に負い目のある人を

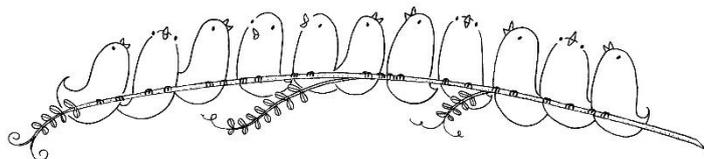
^d赦しましたように。 (脚注 d: 直訳「赦しましたから」、異本では「赦します」)

^{こころ}13 私たちを試みに遭わせず

悪からお救いください。』

^{あやま}14 もし、人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたをお赦しになる。

15 しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。」



主の祈り② (釜ヶ崎・ふるさとの家「労働者のミサ」より抜粋・改変)

司式者 世界中の抑圧されている貧しい人たち、低みから立つ人々の願いに合わせて、「主の祈り」をささげましょう。

みんな 天におられる私たちの父よ。

司式者 ^{かなた}空の彼方ではなく、^{ばんぶつ}万物を支える見えない世界「天」において、人の世の低みから働かれる、私たちの父である神様。(詩 131、139)

みんな 御名が聖とされますように。(出 3:14、フィリ 2:11)

司式者 世の小さくされている者と共に働くあなたを、みんなが聖なる方と認めますように。(マタイ 25:45、28:20)

みんな 御国が来ますように。

司式者 ^{みくに}御国とは、「解放と平和と喜び」の世界です。(ロマ 14:17)

私たちが、不足を分かち合うだけでなく、抑圧された人たちの解放を目指して助け合い、神と人を大切にする社会をつくっていきましょう。

みんな ^{みこころ}御心がおこなわれますように。

司式者 ^{みこころ}御心、それは世の小さくされている者が優先されること。低みから立つ人たちが勇気をもって自分を表わし、連帯する仲間と共に歩みを起こせますように。(マタイ 18:12-14、10:40-42、25:40)

みんな 天におけるように、地の上にも。

司式者 「死んで天国に行けば……」という我慢と逃げの姿勢を捨て、天国に期待することをこの地上にも実現する努力を続けさせてください。

みんな 私たちの^{ひごと}日々の^{かて}糧を今日もお与えください。

司式者 ^{ほどこ}あわれみや^{ゆる}施しによってではなく、自分で食べて行けるように、今日の仕事を^{ほどこ}得させてください。(マタイ 25:35、II テサロニケ 3:7-10)
働けなくなった時には、正當に福祉が適用されますように。

みんな 私たちの^{ゆる}借りを赦してください。

司式者 私たちも自分に借りのある人を赦しています。私たちは家族や知人、そしてあなたに、大きな借りをつくったかもしれません。どうか私たちの借りも赦してください。

みんな 私たちを^{こころ}試みに^あ遭わせず、抑圧するもの(悪)から解放してください。

司式者 低みから立つ人たちを「抑圧するもの」。それは、立場の弱い者を差別する^{せけん}世間の仕組みと、世間に合わせて、自分を^{ひげ}卑下してしまう自分自身。

「力は弱っている時にこそ発揮される」(II コリント 12:9)、この言葉を信じて、私たちも抑圧するものと対決し、みんなが解放されますように。

みんな アーメン



Fritz Eichenberg 「炊き出しの列にならぶイエス」

《先週のメッセージより》2025年5月18日

「私たちの帰る家」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 14章 1-11節

イエス様は、いよいよこれから仲間たちと引き離されて、十字架につけられていく、というお別れの前の最後の食事の席で、お別れの言葉を述べられました。その一部に今回の言葉「私の父の家には住まいがたくさんある。私は、あなたがたのために場所を用意しに行く」(2)があります。ここには出てくる「あなたがたのための場所」という言葉は、クリスマスの日、大きなお腹を抱えたマリアを連れながら、休める場所を探していたヨセフたちに対して、「ここはお前たちの来る場所じゃない」と断った宿屋の主人たちが言った言葉「宿屋には彼らの居場所がなかったのである」(ルカ2:7)と同じ言葉です。イエス様の周りに集まって来ていた人たちは、社会の中で差別され、「ここはお前たちがいていい場所じゃない」と言って、のけ者にされてきていた人たちでしたので、「あなたがたのために場所を用意する」と言われた言葉は、どれほど嬉しい言葉、喜ばしいお知らせ、福音だったのでしょうか。

「きみがすきだって」という子どもの賛美歌がありますが、ドイツ語の原題は「こどもを勇気づける歌」なのだそうです。「誰かが認めてくれること」、「誰かから必要とされること」、「同伴者がいること」、そして「神様が助けてくれること」によって勇気づけられて立つことが出来る、というのは何も子どもに限らず、大人もみんな同じなのではないでしょうか。逆に言えば、それらが無ければ、私たちはしっかりと自立することが難しい存在であるということでしょう。聖書の中にはまた「われらの国籍は天にあり」(フィリピ3:20)という言葉もあります。この言葉を墓碑銘としているお墓もよく見かけます。

「私たちの帰る家」はどこにあるのか……。私たち一人一人の、すべての人の命は自分で作り出したものではありません。元をたどれば、自分の命も、隣の人の命も、家族の命も、すべて命の源である神様から与えられたものです。それを人間の都合で右と左に分け、清いものと清くないものに分け、救われるものと救われないものに分け、一方には居場所を与え、他方からは居場所を奪う。そんなことが許されてよいのでしょうか。もちろん、そのようなことはありません。「私に従いなさい」と言われたイエス様が、その身をもって示された道を、私たちもイエス様と共にあって、一步一步力づけられ支えられながら、隣人を大切に作る歩みへと、今日も歩み出していきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年5月18日

礼拝出席 大人6人 子ども3人 献金 大人5,000円 中継視聴者数1回 感謝
 礼拝後に、釜ヶ崎支援のために皆でおにぎりを181個作り、いこい食堂にお届けしました。天候にも恵まれ、今年2月に工事が完了した四角公園（西成警察署裏）にて130人を超える大勢の方々にお渡しすることができました。どうもありがとうございました。



◎次週 2025年6月1日（日）復活節第7主日礼拝

招きの詞 詩編 93編 1-2節

聖書 エフェソの信徒への手紙 4章 1-16節

メッセージ 「キリストに結ばれて生きる」牛田匡牧師

賛美歌 21-337番 (©P.D.)、21-405番 (©JASRAC)、21-542番 (©JASRAC)

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・次週6月1日（日）の午後、14時から王寺墓地にて昨年に召天された さんの納骨式と、服部墓地から改葬して来たご遺骨の納骨式の墓前礼拝を行います。
- ・6月7日（土）に、和歌山県かつらぎ町にて、「縁農」を行います。釜ヶ崎・いこい食堂の方々と一緒に、玉ねぎの収穫作業をお手伝いします。詳しくは牧師までお問合わせ下さい。
- ・6月12日（木）9時半～11時半にかけて、釜ヶ崎・いこいの家にて「聖書を読む会」を行います。テキストは「聖書の話あれこれ」で、コピーを配布いたします。参加費は無料ですが、カンパがあります。どなたでもご参加ください。
- ・5月31日（土）10時から、大阪福島教会（JR大阪環状線・福島駅下車徒歩）にて大阪キリスト教連合会主催「教会一致祈禱会」が開催されます。大阪キリスト教連合会では、毎年1回「教会一致祈禱会」を開催しています。各教派の方々が集い、主にある一致のため、祈りを共にし、交わりを深めています。今年は、日本基督教団の担当で、大阪教区総会議長の尾島信之牧師（南大阪教会）がメッセージを担当されます。参加無料・申込不要です。どなたでもご参加ください。（席上自由献金があります）

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/1	牛田匡牧師	教会を考える会 14時～ 王寺墓地 墓前礼拝・納骨式
6/8	牛田匡牧師	ペンテコステ礼拝 (花の日こどもの日礼拝)
6/15	牛田匡牧師	14時半～ 河内地区女性会 (@小阪教会)
6/22	牛田匡牧師	おにぎり支援

2025年 大阪キリスト教連合会

教会一致祈禱会

大阪キリスト教連合会では、毎年1回「教会一致祈禱会」を開催しています。各教派の方々が集い、主にある一致のため、祈りを共にし、交わりを深めています。今年は、日本基督教団の担当です。



メッセージ: 尾島 信之 牧師

日本基督教団大阪教区議員。
 1974年、岡山県生まれ。同志社大学神学部卒業後、医療事務職に就くが、程なくして、同大学大学院神学研究科へ進学。博士課程前期課程を修了後、日本基督教団の各教会(愛知、大和郡山)に赴任。
 現職は、日本基督教団南大阪教会牧師、及び南大阪幼稚園理事長。

日時: 2025年 5月31日(土) 午前10時～

会場: 日本基督教団 大阪福島教会

大阪市福島区福島 7-19-16

入場無料・申込不要

(ただし、席上自由献金があります。)

- ◆献金は、日本基督教団社会部を通じて、マンマーマー地震被災者の方々にお届けします。
- ◆JR大阪環状線「福島」駅の改札を出て、すぐに左(北)に向かい、すぐの踏切を渡って、3つめの信号を左折。そのまま直進すると、やがて右側に教会が見えます。隣に愛輝幼稚園があります。
- ◆公共交通機関をご利用ください。



主催: 大阪キリスト教連合会
 〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-26-47
 大阪クリスチャンセンター事務局内
 TEL: 06(6762)7701